

西暦2023年9月15日

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ひ-

現在、眼科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、研究対象者の方の同意が得られていませんが、本学倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。お申し出は代理人の方からの申し出でもかまいません。いずれの場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 網脈絡膜疾患に対する非侵襲的眼底イメージングを用いた病態解析

[研究実施期間] 2023年8月21日～2030年3月31日

[研究対象者]

西暦2018年4月から2030年3月までの間に琉球大学病院眼科に通院または入院した網膜硝子体疾患、黄斑疾患を有する方

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、検査結果（血液検査、視力、眼圧、蛍光眼底造影、光干渉断層計、眼底自発蛍光等）

[利用の目的]

網膜硝子体疾患に対して施行された検査結果の検討、また各種治療後の評価も併せておこない、包括的な病態評価のための方法論を確立することを目的としています。

[利用期間] 西暦2018年4月から西暦2030年3月31日までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

また診療において得られた情報の、他の研究機関への提供方法に関しては、Boxというクラウドストレージサービスを利用します。本サービスでは、アクセス権限の設定や二段階認証、情報の暗号化処理が自動で行われるなど、高度なセキュリティ制御が可能で、国際的なプライバシー基準を満たしている信頼性の高いサービスとされています。

[研究実施体制]

研究代表機関：琉球大学眼科（研究責任者：古泉 英貴）

共同研究機関：理化学研究所 画像情報処理研究チーム（研究責任者：横田秀夫）

[研究内容の問い合わせ担当者]

研究内容の問い合わせ担当者：琉球大学 眼科 今永 直也

電話：098-895-1180（内線2461）（応対可能時間：平日9時～16時）

ファックス：098-895-1427

Eメール：flower-3@jim.u-ryukyu.ac.jp